

# 森のかくれんぼ PROJECT

団体名●池上こども基礎フィールド／代表者名●池上奨（人間科学部こども学科教授）

## はじめに

こどもから大人まで里山を学び遊べるフィールド創りをお手伝いします。

外から森を見るのではなく、森の中に入る事によってはじめて森の豊かな資源、それを活用する人間の知恵を知る事が出来ます。

森や林では、樹木の生命力、花々の美しさ、野生動物の営み、生き物の繋がり等、数多く発見と感動を与えてくれます。しかし同時に管理されていない自然界は様々な危険も伴います、そこで、森や林での活動（遊歩道づくり、ツリーハウス造り、きのこの栽培等）を通してインタープリテーション能力（自然についての知識そのものを伝えるだけでなく、その裏側にある「メッセージを伝える技術」）、グループマネジメント能力、プログラムマネジメント能力、危険回避のできるリスクマネジメント能力を身に付けてもらいたいと思います。

## 活動内容活動実施のきっかけ

昨年行われた白山手取川ジオパーク推進協議会が主催する「子どもジオパーク博士」の一つの企画として鶴来町河内町福岡地区で「アートを通して里山の学び」が行いました。

担当者は白山市福岡里山倶楽部の山本謙一氏とワクワク工房の福浪漫氏です。

彼ら2人に出会った事で里山に興味がわき、私達で何かが出来る事はないかと考えました。

## 森を身近な存在にする為の体験

- ① ツリーハウスやデッキステージを造る。
- ② グリーンウッドワーク  
(生木での木工)  
木のスプーンや小枝で動物を作る。  
きのこの栽培作業  
菌打ち作業(1回/年)  
原木の天地返し作業(3回/年)
- ③ 椎茸、ナメコ、ヒラタケ収穫(複数回)

## 森の整備は3年を目安に計画

- 健全な森にするための作業(随時)
- 遊歩道づくり。
- 植物、樹木、動物を調べて名札を付ける。
- 危険箇所の柵づくり。
- サイン(看板、道しるべを設置。)
- トイレの設置。

## 学生に対して

里山で天然キノコを栽培する方、大工、企業デザイナー、プロダクト、建築家、アーティストなどその道のプロを先生にして楽しく学べる貴重な機会をつくれます。

学生達は将来、小学校教員になった時、ここで学んだ事が活かし、里山の大切さを子供達に伝えてほしいです。

## 地域に対して

地元の保育園児や白山市国際交流課からの依頼であるオーストラリア ペンリス市、アメリカ コロンビアの留学生に里山についてレクチャーを行う事が出来ます。

JALとのワーケーション(「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと。仕事と休暇を両立させる働き方として注目されている。)これを利用してワークショップやアクティビティ(サイン・ツリーハウス・遊具などの製作)行い、地元住民(白山市福岡里山倶楽部・白山市福岡やまだち会)との交流をはかります。

## 活動スケジュール 2020年度

- ① ツリーハウス  
螺旋階段の製作  
ツリーハウスの柱を立てる
- ② グリーンウッドワーク  
(生木での木工)木のスプーン製作

森の中 現地でのミーティング



ツリーハウスを設置する木



螺旋階段製作



ツリーハウス支柱建て



スプーン作り (生木での木工)



## 成果、結果の考察

ツリーハウスのめどが立った。

コロナ過の中で学生達は里山での体験が出来た。

森の整備に関してはあくまで地元の皆さんが中心です。

学生達はできる範囲でのお手伝いであります。

その中でシンボリックであるツリーハウスのデザイン、製作に関われるという事は学生達にとって大変有意義であると思われま

## 今後の課題、展望

今年度はコロナ過でスタートが遅れてしまい、予定通り事を運ぶ事が出来ませんでした。

次年度はもう少し進むであろうと思われま

この様なご時世なので慌てないで出来る範囲でゆっくり進めて行きたいと思いま